

(発出先) 農政クラブ、農林記者会、林政記者クラブ

平成 29 年 5 月 19 日



## グリーンウェイブ記念植樹祭の開催について

国連生物多様性の 10 年日本委員会  
(iki-tomo 推進事務局：(公社)国土緑化推進機構)

環境省、農林水産省、国土交通省及び国連生物多様性の 10 年日本委員会 (UNDB-J) では、平成 29 年 3 月 1 日から 6 月 15 日までの期間、国連生物多様性の 10 年「グリーンウェイブ 2017」への参加と協力を広く国内に呼びかけています。

### 1. グリーンウェイブ記念植樹祭について

UNDB-J は、今年度の新たな取り組みとして千葉県を舞台とした『生物多様性の 10 年「グリーンウェイブ 2017」モデルキャンペーン in 千葉』として、千葉県内に店舗や事業所、活動フィールド等を有する企業、NPO 等の協力を得てグリーンウェイブに関する様々な取組(※)を実施しています。このキャンペーンの一環として、記念植樹祭を開催します。記念植樹祭には、グリーンウェイブ大使にも任命されている、「2017 ミス日本みどりの女神」の野中葵(のなか・あおい)さんも出演します。

日時 平成 29 年 5 月 27 日(土) 9 時 30 分～13 時  
場所 千葉県山武市「日向の森」(千葉県山武市雨坪 周辺)  
内容 植樹活動(10 時から記念植樹を予定)  
森林とのふれあい(森林散策、間伐等のクラフト) 等  
主催 国連生物多様性の 10 年日本委員会、  
(公社)国土緑化推進機構、  
(公財)Save Earth Foundation  
申込 下記イベント HP よりお申し込み下さい。  
<http://save-earth.or.jp/archives/4697>

※ モデルキャンペーンでは、グリーンウェイブ活動への募金呼びかけ、千葉県マスコットキャラクター「チーバくん」のオリジナルグッズ配布等を行っています。引き続き、モデルキャンペーンへのご参加もお待ちしております。



グリーンウェイブ大使  
野中 葵(のなか・あおい)さん



千葉県マスコットキャラクター  
「チーバくん」グッズイメージ

<記念植樹祭を含む、モデルキャンペーンに関するお問い合わせ先>

国連生物多様性の 10 年日本委員会  
iki-tomo 推進事務局(グリーンウェイブ担当)  
(公社)国土緑化推進機構 政策企画部  
(担当 富永、木俣、阿部)

代表 03-3262-8451

直通 03-3262-8437

E-mail [fore-sapo@green.or.jp](mailto:fore-sapo@green.or.jp)

## 【参考】

### ○国連生物多様性の10年日本委員会 (UNDB-J)

2011年から2020年までの10年間は、国連の定めた「国連生物多様性の10年」です。生物多様性条約第10回締約国会議(2010.10 愛知県名古屋市)で採択された、新たな世界目標である「愛知目標」の達成に貢献するため、国際社会のあらゆるセクターが連携して生物多様性の問題に取り組むこととされています。

これを受け、愛知目標の達成を目指し、国内のあらゆるセクターの参画と連携を促進し、生物多様性の保全と持続可能な利用に関する取組を推進するため、「国連生物多様性の10年日本委員会」(UNDB-J)が2011年9月に設立されました。環境省は、事務局を務めています。

(ウェブサイト) <http://undb.jp/>

(Facebook ページ) <https://www.facebook.com/UNDBJ>

### ○国連生物多様性の10年「グリーンウェイブ2017」

生物多様性条約事務局は、国連が定める「国際生物多様性の日」(5月22日)に、世界各地の青少年、子どもたちの手でそれぞれの学校や地域等で植樹等を行う「グリーンウェイブ」への参加を呼びかけています。

世界各地において、5月22日の午前10時(現地時間)に植樹などを行うことにより、この活動が地球上の東から西へ波のように広がっていく様子を、「緑の波(グリーンウェイブ)」と表現しています。

このため、環境省、農林水産省、国土交通省及び国連生物多様性の10年日本委員会(UNDB-J)では、生物多様性に関する理解が社会に浸透するように、植樹等をきっかけとした生物多様性の広報、教育、普及啓発を推進するため、3月1日から6月15日までの期間を国連生物多様性の10年「グリーンウェイブ2017」として広く本活動への参加を呼びかけます。

「グリーンウェイブ2017」ウェブサイト <http://greenwave.undb.jp/>

### ○ミス日本みどりの女神について

日本では、2020年にオリンピック・パラリンピックが開催される予定であり、また新国立競技場は緑化を推進するとともに国産材を多用する「木と緑のスタジアム」として整備されることから、今後日本らしい“緑の木のおもてなし”への世界から注目が高まることが推察されています。

こうしたなかで、世界第2位の森林国であり、古来より営々と培われてきた「木の文化」の現代的な価値や意義を加味しながら、緑や木の重要性を広く社会に発信するために、2015年より(公社)国土緑化推進機構とミス日本コンテスト事務局は連携して、「ミス日本みどりの女神」を任命しています。

(ウェブサイト) <http://mori-zukuri.jp/topics/2017/01/26/8411.html>